

2電源
2チャンネル 35W min
AF パワーアンプ



2 Channel 35Wmin AF Power Amplifier

- ★ Greatly reduced heat sink due to case temperature 125°C guaranteed.
- ★ Muting circuit to cut off pop noise at power ON/OFF mode.

1623

- 特長 ・ エミッタフォロワ回路を内蔵し 高級化を図っている。
 ・ ケース温度 125°C を保証し 放熱板の大幅削減ができる。
 ・ ミューティング回路を外付けすることにより 電源 オン、オフ 時のショックノイズをなくすることができる。

 最大定格/ $T_A=25^\circ\text{C}$

			unit
最大電源電圧	$V_{CC\text{ max}}$	± 47	V
熱抵抗	θ_{j-c}	理想放熱状態 パワー T_r 1石	2.0°C/W
接合部温度	T_j	150	$^\circ\text{C}$
動作時 IC 基板温度	T_C	125	$^\circ\text{C}$
保存周囲温度	T_{stg}	$-30 \sim +125$	$^\circ\text{C}$
負荷短絡許容時間	t_B	$V_{CC}=\pm 30\text{V}, R_L=8\Omega$, $P_O=35\text{W}, f=50\text{Hz}$	2 sec

 推奨動作条件/ $T_A=25^\circ\text{C}$

			unit
推奨電源電圧	V_{CC}	± 30	V
負荷抵抗	R_L	8	Ω

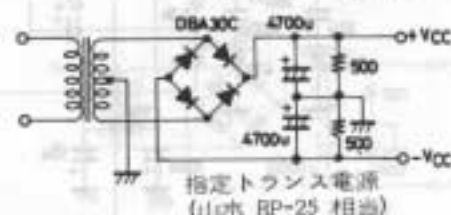
 動作特性/ $T_A=25^\circ\text{C}, V_{CC}=\pm 30\text{V}, R_L=8\Omega, R_g=600\Omega, V_0=40\text{dB}$, 指定測定回路 (応用回路例に準ずる) において,

			min	typ	max	unit
無信号電流	I_{Q00}	$V_{CC}=\pm 36\text{V}$	35	70	120	mA
出力電力	$P_O(1)$	$THD=0.02\%, f=20\text{Hz} \sim 20\text{kHz}$	35			W
	$P_O(2)$	$V_{CC}=\pm 24\text{V}, THD=0.08\%, R_L=4\Omega$, $f=1\text{kHz}$	35			W
全高調波ひずみ率	THD	$P_O=1\text{W}, f=20\text{Hz} \sim 20\text{kHz}$			0.02	%
周波数特性	f_L, f_H	$P_O=1\text{W}, \frac{+0}{-3}\text{dB}$		10~100k		Hz
入力抵抗	r_i	$P_O=1\text{W}, f=1\text{kHz}$		32k		Ω
出力雑音電圧	V_{NO}	$V_{CC}=\pm 36\text{V}, R_g=10\text{k}\Omega$			1.2	mVrms
出力中点電圧	V_N	$V_{CC}=36\text{V}$	-70		+70	mV

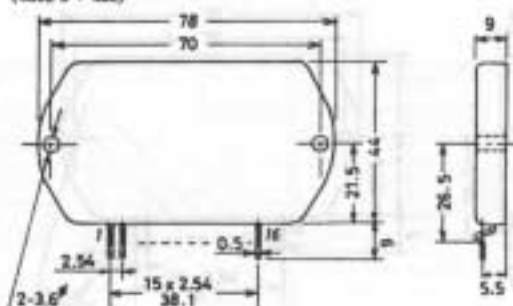
(注) ・ 検査時の電源には、指定のないかぎり定電圧電源を使用する。

・ 負荷短絡許容時間 および 出力雑音電圧の測定は右図の指定トランス電源を使用する。

・ 出力雑音電圧は平均値指示型実効値目盛 (VTVM) のピーク値を示す。ただし AC 電源は AC 1 次側ラインのフリッカ性ノイズの影響をなくするため AC 安定化電源 (50 Hz) を使用する。



指定トランス電源 (山水 RP-25 相当)

 外形図 4029
(unit: mm)




■ 応用回路例 : 35W min/2 チャンネル A^2 パワーアンプ

